

1、視距の定義

視距とは、車線の中心線上 1.2mの高さから、当該車線の中心線上にある高さ 10 c mの物の頂点を見通す事が出来る距離を、当該車線の中心線に沿って測つ

5 た長さをいう。

2、視距の目的

視距確保は、運転者が余裕をもって平面線形、縦断線形を認知し、その進行方向前方の車両や障害物に衝突しないように制動をかけて停止する、あるいは回避

10 できるよう、安全確保に必要な長さを定めることを目的とする。

3、留意点

視距は、制動停止視距、避走視距、追越視距があるが、通常は制動停止視距で十分である。対向2車

15 線道路については、追越視距を考慮する必要がある。全延長に対する追越視距区間の割合を最低 30%とすることである。また、狭隘な道路については、制動停止距離の2倍程度を確保することに留意する。

曲線部においては、平面線形上遮るものがあるが、

20 ならない。法面、分離帯、植樹などで視距が確保されない場合、路肩や側帯を広げる、形状を変更するなどして視距の確保に努める。また、将来沿道に人家が建つ等の理由で視距が保てない恐れがある場合、曲線半径を大きくとることや、必要範囲を道路敷として確保

25 する等が必要である。